

部会の取り組み

部会では、部長のもとで、地域戦略に基づき、産学官民が連携して福岡都市圏の大枠の方向性や、公共政策を伴う施策立案と実行を行っています。

観光部会

MICEの推進と新たな観光ビジネスモデルを創造する

部長 石原 進 一般社団法人九州経済連合会 副会長 副部長 合野 弘一 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー専務理事

<2017年度の主な取り組み>

- 観光ビジネスモデル検討分科会 ● 創出型MICE検討分科会
- ゲーム企業 × FDC 会員企業ビジネス交流会

観光部会では、国際会議などの MICE を活用した福岡都市圏の産業振興を中心に活動を行っています。観光ビジネスモデル検討分科会では、福岡市の「ゲートウェイ機能」を活かした新たな観光のビジネスモデルの構築を目指し取り組みました。創出型 MICE 検討分科会では、「CEDEC+KYUSHU 2017」とその連携や、会員様同士のビジネス交流会等も実施しています。



スマートシティ部会

「福岡版スマートシティ構想」で未来の都市を実現する

部長 安浦 寛人 国立大学法人九州大学 理事・副学長 副部長 前田 真 株式会社産学連携機構九州代表取締役社長

<2017年度の主な取り組み>

- 法規制(個人情報保護、設置等)とビジネス分科会 ● 新たな価値交換システム分科会
- サイバーセキュリティ分科会

スマートシティ部会では、それぞれの分科会で福岡版スマートシティ構想の実現を目指しています。法規制とビジネス分科会では、専門家を招き法規制等の理解促進を行いました。新たな価値交換システム分科会では、Fintec 及びブロックチェーン全般についての取り組みを行っています。サイバーセキュリティ分科会では、サイバーセキュリティ分野への理解を深めることを目的とした取り組みを実施しています。



食部会

九州の食のポテンシャルアップに挑戦する

部長 境 正義 福岡商工会議所 専務理事 副部長 徳島 建征 福岡商工会議所 食料・水産部会 副部長

<2017年度の主な取り組み>

- フードエキスポ九州 2017 ● 福岡版ワンコンテナプロジェクト
- ソリューションコーナー・留学生プロジェクト

食部会では、九州の食産業の高付加価値化を図り、域外移出に挑戦しています。地場食品関連企業の更なる売上向上、販路拡大及び地域経済の振興を目的とした BtoB、BtoC 事業「フードエキスポ九州」を実施しました。



都市再生部会

人・企業・投資を呼び込み、域外移出にチャレンジする

部長 橋田 紘一 福岡経済同友会 幹事 副部長 鹿島 康宏 株式会社九電工 取締役常務執行役員 高崎 繁行 西日本鉄道株式会社 代表取締役専務執行役員 前田 勇人 九州旅客鉄道株式会社 専務取締役

<2017年度の主な取り組み>

- 専門家委員会によるまちづくりの検討 ● シティセールスセミナー
- まちづくり移出産業化検討分科会・実証事業の実施

都市再生部会では、経済産業活動と市民の暮らしを支える質の高いまちづくりを目指しています。2017年度は、持続的な都市の成長を支える PPP(パブリックプライベートパートナーシップ)のあり方や、地域戦略に資する広域的な都市再生戦略のあり方について専門家委員会に意見を求め、新たな戦略の検討を行いました。



福岡県都市圏のオープンイノベーション、新規事業開発を加速化 FDC Launch Program [FLaP]



FDC は福岡都市圏の地域戦略に資する新規事業の創出を加速化させるための事業化支援体制である「FDC Launch Program (FLaP) エグゼクティブ・ローンチプログラム(フラップ)」を創設しました。FLaP の創設により、福岡都市圏をイノベーションのプラットフォームとして、FDC 会員を起点としたオープンイノベーションの実施や新規事業開発、企業の海外展開、海外企業の誘致など、福岡を起点とした事業の展開を加速させます。

海外も視野に入れた広域連携の取り組み

フランス

- 福岡市、ボルドーメトロポール、FDC、テクノウエストの4者でスタートアップに関する MOU を締結

国際イベント

- Global Startup Drone MeetFes を開催 (2017年5月 ドローンテーマにしたマッチングイベントを開催)

台湾

- Taiwan Startup Institute による Road to Fukuoka Event (2017年2月 福岡への進出を希望する大学発ベンチャーに向けてのイベントを開催)
- 日台架け橋プロジェクトセミナー (2017年11月 公益財団法人日台交流協会とのプロジェクトの一つとしてセミナーイベントを開催)



プロジェクト・コンソーシアム

プロジェクトは、純粋な民間企業によって地域戦略に資する事業を検討する有志チームの組成を行う場であり、コンソーシアムは、部会やプロジェクトから発生する、有志チームによる事業検討（詳細F/S）の場となります。

地方創生：CCRC

地方創生のプロジェクトの一環として、生涯活躍のまち（日本版 CCRC※）の導入に向けた取り組みを行なっています。2017年度は杵田市をフィールドとして、住民ワークショップや基本指針・実施計画の策定に取り組みました。



※ Continuing Care Retirement Community

杵岐でのワークショップの様子

地方創生：商店街活性化プロジェクト

地方創生の一環として商店街活性化に向けた取り組みを福岡市と共に支援しています。本事業は、多様な市民の参画によるフィールドワークやワークショップを通じて、活性化アイデアを創造するとともに、商店街と共にその実現に取り組むパートナーを発掘します。



大橋商店街での地域活性化プロジェクトのメンバー

防災共創プラットフォーム

福岡市、Pop-up Commons 準備委員会とともに、市民、企業、NPO、行政など様々な主体の共創による取り組みを進めるプラットフォーム事業を行なっています。



ワークショップ in「防災キャンプ」の様子

福岡ヘルス・ラボ

「楽しみながら健康になれる」ような製品やサービスに対し、市民の参画を得ながらその効果を検証し、評価・認定する実証実験の仕組みです。市民や企業、大学などが一体となって取り組み、健康づくりや介護予防などに役立つ製品やサービスの普及を後押しします。



「福岡ヘルス・ラボ」ワークショップの様子

福岡認知症・介護予防リビングラボ

福岡ヘルス・ラボ事業の一環として、会員企業との共催で「福岡認知症・介護予防リビングラボ」を開催。「介護、認知症、死生観などについて話せる場」などのテーマでワークショップを行い、アイデアを深めています。



「福岡認知症・介護予防リビングラボ」ワークショップの様子

ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)プロジェクト

世の中にある課題やニーズに対し、これまで公共部門が公共サービスとして担ってきた領域を、事業的手法によって解決する SIB 事業の組成に取り組んでいます。



SIB 調査全体図

九州ドローンコンソーシアム

最先端テクノロジーである無人航空機（ドローン）を活用し、社会課題を解決する事業開発、防災体制の構築を目的として設立されました。教育、防災、観光、AI、インフラ点検、農林水産の6つのWG（ワーキンググループ）を組成し、ドローン事業の創出に向けて支援しています。



Fukuoka Mirai Incubation Program

三井住友銀行や日本総合研究所が参画するオープンイノベーションを目指した事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative」を通じ、アクセラレーションプログラム「未来」との連携や官民プロジェクト組成、国家戦略特区としての先駆的なプロジェクトの事業開発、フィンテック分野のイノベーション創出を支援します。



プログラム発表の様子

福岡-DGスタートアップ支援プログラム

DG はサンフランシスコにおけるコワーキングスペース「DG717」の運営、Open Network Lab などのアクセラレータプログラム運営を始めとしてスタートアップ企業支援のノウハウ・経験、国内外における豊富な投資ネットワークを有しています。そのノウハウを活用することで新規事業創出を支援します。



「2025年の健康社会モデル」と題したケアテックイベントの様子

福岡スタートアップライブラリー

九州コンテンツバレー構想を掲げる BOOK と、田川市、FDC は福岡スタートアップライブラリーを開設し、筑豊地域での継続的・永続的な創業支援を展開します。「いいかね pallet」等の廃校の利活用について他県との施設連携を進めています。



BOOK、田川市、FDC かの会見の様子

国連ハビタット

国連ハビタット福岡本部とアジア諸都市の持続的な発展を実現することを目指した包括連携協定を締結し、FDC 会員の技術やノウハウの活用可能性や、域外での事業化の可能性などを共同で検討していきます。



2016年の締結の様子

福岡市実証実験フルサポート事業

福岡市と共に、IT や IoT のテクノロジー（LoRa Network など）を活用した社会的課題の解決や、市民生活の質の向上に繋がる実証実験プロジェクトの公募・選定・支援を行い、実現を目指します。2017年度までに第3回の募集を行い、選定が完了。順次実証実験を開始します。



FCAJ (Future Center Alliance Japan)

産官学ネットワーク形成を通じイノベーションを加速するアライアンス「Future Center Alliance Japan (FCAJ)」と連携。市民ベースからの福岡の新規事業創出を目指します。



Future Center Alliance Japan 2017 在福岡のディスカッションの様子

スマートモビリティ

ICT を中心とした新たな社会システムの創造に向けた事業に取り組んでいます。会員様と共に、九州大学伊都キャンパス内の自動運転バスのサービスインに向けて「スマートモビリティ推進コンソーシアム」を発足するなどして更なる発展に取り組めます。



「スマートモビリティ推進コンソーシアム」発足の様子

国家戦略特区

グローバル創業雇用創出国家戦略特区指定を受け3年となります。FDC は福岡市と共に、産官民が連携した国家戦略特区を引き続き実現していきます。



福岡市国家戦略特区指定3周年記念イベントの様子